



五
林
22

二五号のこがしこがし
の欄案と多分

寸楮の始りるに
謀丹を以て好む

年ある川に車おれ

ある川に車おれ

ある川に車おれ

ある川に車おれ

ある川に車おれ

ある川に車おれ

ある川に車おれ

ある川に車おれ

ある川に車おれ

ある川に車おれ

原ノ力^ハ長^ク多^クナリト
申スヘリ^ト少^ク生^ル原^ニ於^テテ
此^ノ如^ク情^ヲ証^スアリ^ト少^ク生^ル
常^ニ存^リ以^テ忘^レサ^レリ^ト以^テ
原^トス^ル然^ルニ^モ原^シレ^テ
今^ノ口^シ快^シテ^モ田^舎
増^設セ^レル^ト何^分
少^ク生^ル忍^ミテ^モ亦^モ去^リ
原^ノ私^ノ情^ヲ以^テテ^モ
上^ニ混^ジテ^モ又^モ
為^シテ^モ亦^モ有^ル
原^ノ私^ノ情^ヲ
任^シテ^モ又^モ
用^シテ^モ亦^モ有^ル
決^シテ^モ亦^モ有^ル
原^ノ私^ノ情^ヲ
淺^ク也^ト亦^モ有^ル
解^シテ^モ亦^モ有^ル

...之...
...
...

廣く書く福く

淺く己く力く事く

解く耐く人く

物く能く世く友く

種く言く給く者く

家く忠く厚く勉く行く

家く信く保く

行く以く踐く

山く忍く比く六く

學く先く子く已く事く

日く事く之く方く

四く記く下く又く人く

物く能く事く自く信く

事く付く名く名く四く

南く信く事く泥く泥く

事く以く事く令く

一く度く名く能く可く出く

香花の如き、確信を
修むる者なり。心一
山にこゝろをこら

思ふ人の先ず是れ

日人、年々之方

少く配下あり人

物に能く、心は

之事、年々之方

南信、心は

之事、年々之方

一度、心は

揚、心は

之事、年々之方

其、心は

直刺

大徳は之